

無花粉スギに関する勉強会 「森林で学ぶ花粉症対策」



現在、瀬尻国有林内に将来の形質評価や遺伝的に多様なより優れた品種の開発に備えて、無花粉スギを植栽し、管理を続けている試験地があります。

この試験地を活用して、本州では馴染みのない挿し木増殖手法及び無花粉スギ採穂園造成に向けた取組を学ぶため、静岡県農林技術研究所森林・林業研究センターと連携し、令和7年3月13日に無花粉スギに関する勉強会を開催しました。(当日は35人が参加者)

天竜森林管理署より、『スギ花粉症は、その患者数が国民の約4割と推計されるなど社会的に大きな問題となっている現在において、『花粉症対策』の一層の推進、かつ、森林・林業への関心を高める有効なツールとして活用していければと考えています。この勉強会を契機として、さらに、国、県、市等の林業行政に携わる職員が花粉症対策に関して知識を高め、地域住民や企業等が参加した花粉の少ない森林づくり活動の先頭になり、花粉症対策をすすめられますように、安全で有意義な勉強会にしましょう』と開会の挨拶をしました。

当日のスケジュール

- (午前の部) 瀬尻国有林843に林小班
 - 無花粉スギ植栽試験地で採穂
- (午後の部) 静岡県森林・林業研究センター
 - ①座学
 - 無花粉スギの開発と挿し木苗の育苗・植栽
 - 令和6年度静岡県スギ雄花着花量調査について
 - ②実技(挿し木処理)
 - 午前中に採穂したものを穂づくり及び差し付け
 - ③意見交換

1. 瀬尻国有林の無花粉スギ試験地で採穂【午前の部】

静岡県森林・林業研究センター 袴田森林資源利用科長より無花粉スギ植栽試験地の概要及び採穂の仕方等の説明をしていただきました。

この試験地は、2014年5月に精英樹(大井7号(♀)×中4号(♂))の無花粉129本、有花粉74を植栽しました。樹木の評価には多くの年月を要することから長期間にわたり試験林を整備しておく必要があること、かつ、今後、成木での評価も必要になると想定されるため、他機関の協力を得て、森林・林業研究センターで作出・育成をした無花粉スギを植栽し、今後、数年の調査研究に加え、数十年先の評価を見据えて、この試験地の整備を続けています。

(静岡県内の国有林(4箇所)及び民有林(4箇所)に試験地がある。)

また、挿し木苗になる採穂のやり方等について、説明していただきました。



採穂の説明
(上に伸びようとする主軸がある枝を採取すること。)



穂を採取するための枝の切り落とし



穂の採取



手に取って花粉の有無の確認

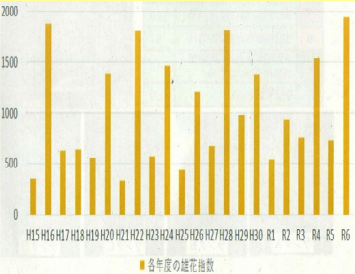
2. 無花粉スギの開発と挿し木苗の育苗・植栽【午後の部】

静岡県森林・林業研究センター袴田森林資源利用科長より無花粉スギの作出・優良品種の開発及び苗木生産等について、また、阪本主査より、令和6年度静岡県のスギ雄花着花量調査について説明をしていただきました。



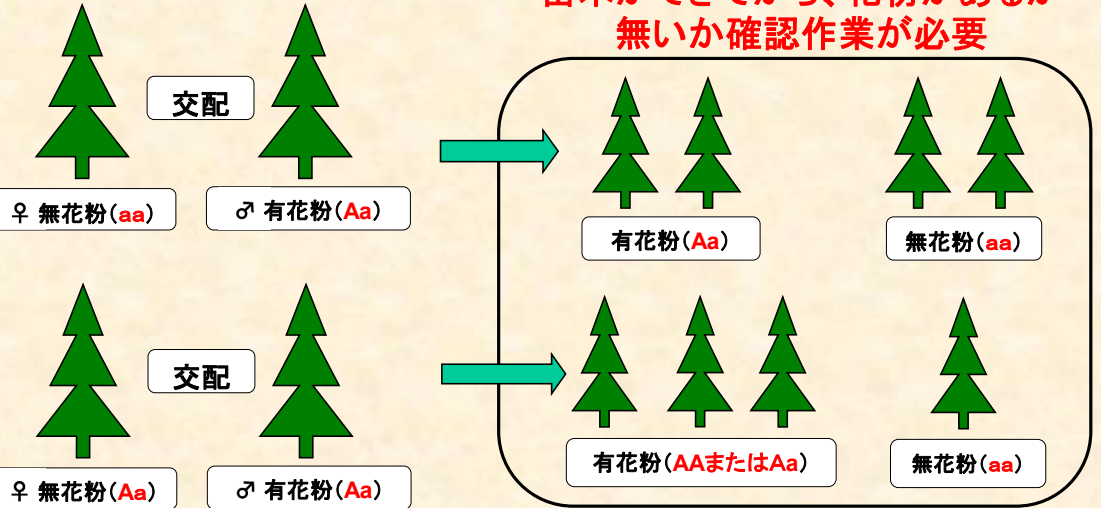
阪本主査
○直近10年間(平成26年度から令和5年度)の雄花着花指数の平均値(1,050.3)を100として比較。
→令和7年春のスギ花粉の発生は、雄花の着花指数が1,931であり、平均値1,050.3と比べて1.8倍である。

年度	雄花の着花指数	平均
H26	1,194	1,050.3
H27	675	
H28	1,810	
H29	978	
I30	1,366	
R元	542	
R2	938	
R3	750	
R4	1,531	
R5	719	
R6	1,931.0	



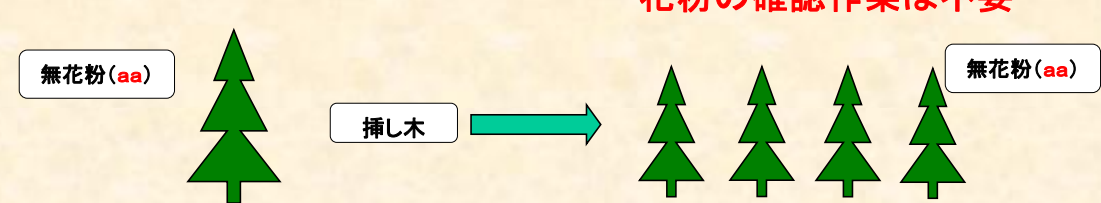
無花粉スギの苗木生産

1. 実生苗(種で増やす)



苗木ができてから、花粉があるか
無いか確認作業が必要

2. 挿し木苗(挿し木で増やす)



花粉の確認作業は不要

無花粉スギの挿し木苗育成



3. 穂づくり・差し付け【午後の部】

